

“kamo! Handa”

半田が誇る発酵と醸造の歴史文化

江戸時代、醸造と海運で活気あふれた港まちは
いま、半田の誇る発酵と醸造の歴史文化を
世界へ向け情報発信する湊まちへ。

半田運河エリア

ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田運河エリア



江戸へ粕酢を運んでいた「弁才船(べざいせん)」
に乗船し、大きさを体感できる。



半田運河

醸造業と海運業で栄えた半田発展の中心となった港。建ち並ぶ蔵から小舟で舟を運び出でて弁才船へと積み込み江戸まで運んだ。現在は、かつての面影を残した広々とした景観の運河散策や、発酵と醸造の歴史文化を楽しめる観光スポットに。市民に愛される憩いの場でもあり、活用事例として評価され平成29年「都市景観大賞」を受賞。

半田運河
HANDA CANAL



粕酢発祥の半田から
江戸へ、全国へ、世界へ!

いいかもポイント
“kamo! Handa”

MIZKAN MUSEUM (MIM)

ミツカンミュージアムの正面玄関前に
ちょこんと建つスヌーメージュ&フードスタンド。粕酢を使ったビネガージュース
は半田ならではの味わい。ティケアウト
できるカラダに優しいメニューが並ぶ。



ミツカンミュージアム限定販売
の粕酢「千夜」(P14)と濃厚
マンゴーがベストマッチ。

「味ぽんスタジオ」でつくるオリジナルマイ味ぽん。
季節の柄もあり旅の記念にピッタリ。

リトリートキッチン

ミツカングループの正面玄関前に
ちょこんと建つスヌーメージュ&フードスタンド。粕酢を使ったビネガージュース
は半田ならではの味わい。ティケアウト
できるカラダに優しいメニューが並ぶ。

ミツカンミュージアム限定販売
の粕酢「千夜」(P14)と濃厚
マンゴーがベストマッチ。

半田市鉄道資料館

JR武豊線は日本の鉄道黎明期に開通
した路線のひとつで、その貴重な歴史資料
を収蔵する資料館。「C11265蒸気機関車
(SL)」の静態保存も鉄道ファン必見!



対岸から眺めた切妻屋根が3つ連なる
特徴的な蔵。利き酒コーナーも楽しい!



國盛 酒の文化館

くにざかり さけのぶんかん
「中埜酒造(なかのじゅぞう)」のお酒の博物館。実際に約200年にわたり酒造りを行ってきた酒蔵で、館内は当時の面影を感じることができる。酒造りの解説や展示などで半田の醸造の歴史を学べる。

代表銘柄「國盛」ほか、中埜酒造製品が買える蔵元直売所も。



約千個の風鈴の涼やかな音色!

半六庭園は自由に散策ができる、夏には「半六庭園の風鈴飾り」、秋には「半六庭園のランプ飾り」など、季節ごとに楽しめる。敷地の南西には舟の板を使った「舟板塀」が残る。



国登録有形文化財 旧中埜半六邸

きゅうなかのはんろくてい

半六庭園

はんろくていえん

尾州半田の繁栄を牽引した豪商・中埜半六家の旧邸宅。回遊式の日本庭園、母屋、炊事場(七連かまど)、3つの蔵が現存している。庭園は一般開放され、母屋2階は貸室として、イベントや撮影などに利用。



HANROK

はんろく

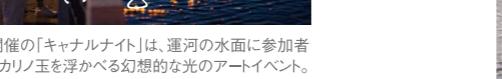
有形文化財の邸宅内でコース料理が
楽しめる本格フレンチ。愛知県・知多
半島産の厳選食材に発酵・醸造を
利かせ、食と文化の繋がりを感じられ
る革新的なメニューが堪能できる。



広々とした景観を楽しみながら運河沿いの遊歩道を散策!



端午の節句の時期には、50匹以上
の鯉のぼりが春の空を彩る。



夏開催の「キャナルナイト」は、運河の水面に参加者がヒカリノエを浮かべる幻想的な光のアートイベント。

青空を穏やかな水面に映す半田運河。時を経た歴史ある景観はカメラに収まりきらない美しさ。潮の満ち引きにより生まれる様々な表情も魅力のひとつ。

